

平成 30 年 7 月 20 日

## 1 学期 終業式

1 学期終業にあたり少し時間いただきます。まず、西日本豪雨・大阪府北部を震源とする地震において、お亡くなりになられた方々、関係者の方々に心よりお悔み申し上げます。同時に、負傷、住宅など被災された方々、関係者の方々に心より御見舞申し上げます。

さて、みなさん、1 学期が終了しました。少し振り返ってください。

志を立て、目標に向かう自分がありましたか、他人を攻めず、自分を攻め、自分に勝ちましたか、挨拶・思いやり・様々な学び、いかがでしたか、万全であった人は更に高みを目指してください。駄目であった人は、言い訳することなく真摯に現実を受け止め改めてください。

それでは、校長として 1 学期を振り返ります。まず、発展的にリニューアルした体育祭。生徒の皆さん・保護者、関係者のみなさん・我々教職員の絆が深まった理想的な体育祭でした。生徒のみなさんの躍動に感動で綺麗な涙を流す関係者の方もおられました。私の記憶にもサッカー・ワールドカップよりもみなさんの躍動が深く残っています。また、チームの輪を世界に広げた香港のみなさんとの交流もありました。生徒間の総合的なコミュニケーション力には大変関心しました。短時間で互いをリスペクトする関係を築き上げてお

り交流事業の意義を再確認できました。加えて、みなさんは今、縁があり、大阪府泉南市樽井のりんくう翔南高等学校にいます。やがてこの学校を巣立っていき、みなさんの縁のある場所で活躍していきます。それはどこか判りませんが、国際交流で縁のある場所が広がりました。みなさんの活躍する舞台は世界へと広がりました。体育祭も国際交流も教職員一同「本校の生徒ならできる・できる」と以前より創造力を高めていましたが「やっぱりできました」次に繋がる成長の足跡もしっかりと残してくれました。校長として、特にこの二つ記憶に残しています。他の教育活動とともに、全生徒への教育的効果が大変高く、みなさんの生きる力に繋がる教育活動であると捉えています。もう一つ、特に行事日や授業中ではなく記憶に残ることがありました。昼休みに事務室の方から「校長先生と話したいと生徒さんがたくさん来ています」「学年の先生呼びましょうか」と声がかかりました。「いや、いいです。いいです」「校長室に入ってもらってください」と返答し、それで9名の生徒が来室してくれました。ソファは6人掛けでしたが、9名つめつめで座ってもらい、約2～3分でしたが心地よい対話ことができました。アイコンタクトだけの生徒もいましたが、生徒の思いがしっかりと私に届きましたし、私の思いも届いたと思っています。本当に礼儀正しく、爽やかで好印象でした。自分の思いを総合的なコミュニケーション力で相手に伝える力を身に付けていました。(9名の生徒と校長の

私) 互いをリスペクトする関係が瞬時に完成したのだとも思いました。また、近々に、吉報が入りました。3年生1名が本校英語科の先生方に指導を受け、果敢に挑戦し、日本英語検定協会が実施する英語技能の検定試験で2級を取得しました。大変立派な功績です。後の表彰伝達で披露します。

このように生徒のみなさんの成長が著しく感じられるこの頃です。トータルにりんくう翔南高校、飛躍の時と捉えています。できるみなさんですのでいや【信頼できるみなさんですので】これから要求水準を高めて行きたいと思います。

チーム翔南で更に高みを目指しましょう。

さて、明日からの夏休み、個々にめざすものは異なりますが、失敗を恐れず果敢に挑戦し、有意義に過ごすことを期待します。挨拶・思いやり・様々な学びを忘れないでください。終わりになりますが、みなさん「あなた達の」存在自体が周囲を幸せにしています。くれぐれも事故・怪我のないよう健康・安全管理をこころがけてください。そして、2・3年生は8月23日、1年生は8月28日に元気に登校してください。以上、1学期終業式の挨拶とします。